

## 小論文 問題

氏名					
受験番号					

『LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略』の次の文章を読んで、以下の問いに応えなさい。

長寿化時代に、人生のあり方は根本から変わる。そのプロセスはかなり前から始まっており、そのペースはゆっくりとしたものだが、最終的には社会と経済に革命的な変化をもたらされる。これまでグローバル化とテクノロジーの進化が少しずつ確実に人々の生き方を変えてきたように、長寿化も人々の生き方を大きく変える。100年以上生きる時代、言うなれば100年ライフの恩恵を最大化するためには、多くの変化が必要とされるのだ。

(中略)

3ステージの人生では、教育→仕事→引退という順番にステップをへる以外の選択肢はない。多くの人がこの順番どおりに人生を歩み、同世代の人たちが隊列を乱さずに一斉行進することにより、確実性と予測可能性が生まれていた。人々は、機会と選択肢の多さに戸惑うことがなく、企業や政府は、人々の多様なニーズに直面せずに済んだ。この点を考えれば、多くの組織の人材採用、育成、昇進の方針が3ステージの人生を前提にしていることは意外でない。

マルチステージの人生では、新しい人生の節目と転機が出現し、どのステージをどの順番で経験するかという選択肢が大きく広がる。ステージをへる順番は、3ステージの人生の論理ではもはや決まらない。それは、一人ひとりの嗜好と状況によって決まるのだ。

見落としてはならないのは、一斉行進が終わりになると、年齢とステージがあまり一致なくなるとのことだ。いまは、ある人が大学生だと聞けば、だいたい年齢がわかる。ある人が上級管理職だと言われれば、年齢はおおよそ察しがつくし、今日まで

歩んできた道のりもほぼ推測できる。マルチステージの人生が当たり前になれば、そうはいかない。

「大学生」という情報だけでは、年齢を推測できなくなる。「エイジ(=年齢)」と「ステージ」がイコールで結びつかなくなるのだ。とくに、新たに出てくるステージは、ますます年齢と関係がなくなっていく。

このことは、非常に大きな意味をもつ。今日の社会は、エイジとステージが一致することを暗黙の前提にしている部分が多い。企業の人事制度、マーケティング、法律にも、この前提がしばしば深く根を張っている。そうした制度も変えなくてはならない。

(出典：リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット〔池村千秋訳〕『LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略』東洋経済、2016年)

問1 マルチステージの人生とは何かを、100字以内で述べてください(句読点も1字を含む)。

問2 100年ライフという長寿化時代が到来する中で、これからのキャリアデザインのあり方はどのように変化していくと考えられるのかについて400字以内で述べてください。